

社協だより

こいうえ

第36号

発行日/平成28年1月4日
 発行者/己斐上学区社会福祉協議会
 会長 日山 義彦
 編集/広報委員会

新年のごあいさつ

己斐上学区 社会福祉協議会
 会長 日山 義彦



新年明けましておめでとう
 ございます。二十一世紀己斐
 のまち創りも本番に入ってき
 ました。

さて高齢化々々と言っている
 うちに高齢化広島一となりま
 した。今日本の高齢世帯は核
 家族化が行き渡った結果ほと
 んどが老夫婦の二人世帯、片方
 に介護が入り用になると老々
 介護が始まり、高齢化で発生
 するリスクが二つあります。

一つ目が認知症の老々介護。
 これは連れ合いが大変。二十四

時間手がかかり・目が離せない
 過酷な日々が果てもなく続
 きます。介護疲れの果ての心
 中・心中未遂という言葉もよ
 く聞くようになりました。

だから介護保険を作って社
 会に預けたのですが、広島市
 の特別養護老人ホームは入所
 待ちが五、七三七人。まさに
 餓餓の急です。

二つ目が老人ホーム。入所
 費用は安くても諸費用がかさ
 み、月に一人、三十万円前後。
 二人で六十万円。年金ではと
 うてい無理。介護施設の軽費
 老人ホームは年金でまかなえ
 るものの、空きがありません。

老後の「もしか」のために、
 私達は介護保険が始まって
 十五年、営々と保険料を払って
 来ました。これからも払いが続
 きます。いざという時に入ると
 ころがないでは私達には行くこ
 ろがありません。こうなれば
 地域に根ざしたオールラウンド

な介護施設をここの己斐にもって
 来て、地域枠を確保するしか
 ありません！
 介護には老人ホーム以外に
 次のような介護があり、老人
 ホームだけでなくても介護の間
 題は解決しません。

「二十四時間訪問介護・訪問看
 護・訪問入浴・配食サービス・
 ホームヘルプ・ショートステ
 イ・デイサービス」
 これらを網羅したオールラ
 ウンドな介護こそが今必要と
 されており、これがまさに安



平成27年 敬老の日 長寿のご両名と会長(中央)

後期高齢化の進捗状況

平成32年団塊世代後期高齢化始まりまであと5年

	平成26年		平成32年	
	75歳以上	全世代比	75歳以上	認知症有病数
市全域	120,137人	10.1%	148,706人	22,306人
西区	18,060人	9.6%	22,355人	3,353人
己斐地区	3,744人	14%	4,634人	695人

倍首相が掲げる「健康長寿
 社会の実現・介護の充実」で
 あり地域福祉の充実でありま
 す。
 己斐のオールラウンドな介
 護施設による訪問型の住宅介
 護・看護・地域枠ベットのセー
 フティネットと認知症を地域
 で見守り、地域で介護する地
 域福祉の構築を二十一世紀
 の己斐を創る会と行政に提議・
 発信してまいります。

町内会だより

茶木さんご夫妻

防犯連合会長より表彰

日生東町内会

会長 國武 訓扶衛



地域の安全活動に貢献されているとして十六組の茶木武臣さんご夫妻が広島西防犯連合会長および広島西警察署長より表彰されました。

茶木さんご夫妻は、町内中

心部の交通量が多く、信号機のない交差点で毎朝七時半から八時すぎの間、登校児童の誘導を十四年間に亘って実施しておられます。以前は、児童のお母さんが交代で行っていましたが、この時間帯は各家庭とも通勤、通学の準備で忙しく、茶木さんのおかげで大変助かっている、と町内の多くの皆さんが感謝しておられます。

去る五月二十四日、多くの児童、父兄、町民が公園に集まり受賞の報告会があり、國武町内会長より茶木さんご夫妻にお礼の金一封が、また子ども会から花束の贈呈がありました。

今年も町内から

高校総体、国体に出場

◆八月上旬、大阪市中央体育館で行われたインターハイの女子体操競技に、二十五組の國武弥乃理さん（修道大学付属鈴峯高校一年）が出場し健闘されました。

◆十月上旬、和歌山ビッグホエールで行われた紀の国わかやま国体に右記の國武弥

夜回りで安全を呼びかけ

己斐団地町内会

会長 山野 為義

十二月二十二日、二十三日の両日、己斐団地町内会地域の安全推進委員と町内の子ども達と合同で恒例の年末防犯・防災パトロールを行いました。当日は子どもと保護者を加えて三十名余りの参加者が拍子木に合わせ「戸締まり用心・火の用心」と声をかけながら町内を歩きました。途中では家の前に来てられ、お菓子



などの差し入れもいただき激励を受けありがたかったです。年末・年始の安全を祈りながら終わりました。

みんなの笑顔が

いっぱいのお大会でした

上四区町内会

会長 山本 誠

十月三十一日、己斐上小学グラウンドにて町内会親善グランドゴルフ大会を行いました。

みどりの山々に囲まれた己斐の街を見おろし、広島文化の発祥の地でもある過去を振りかえりながら笑顔でプレーを楽しみました。



閑静園フェスタ 五年ぶりに復活!

閑静園町内会

会長 望月 照己

閑静園の秋祭りを十月十八日に行いました。当日は好天に恵まれ、早朝より多くの皆さんが参加。五輪口説きでスタートし、子ども御輿を練り上げながら町内をまわりました。途中公園で休憩し、フォークダンスを見たり一杯飲んだりして交流を深めました。

十一月十四日・十五日、五年ぶりに「閑静園フェスタ」を開催しました。写真や絵などを提示。一日目は民謡やフォークダンスを躍り、二日目は、ハーモニカやコーラスを聞いたりして楽しい二日間をすごしました。



『ウォーキングの会』で

健康維持

明山台町内会

会長 安武 早苗

明山台婦人会では、数ある活動の一つとして『ウォーキングの会』を行っています。

毎週木曜日、九時半に明山台を出発して閑静園、共立ハイッを通じて高須台まで往復三キロを約一時間半かけて歩いています。

「ゆつくり歩きながら、四季折々の景色を楽しんでいます。もう十年も続いているんですよ。」と会長の番倉さん。健康のために歩きながら会話



も弾み、行き交う顔見知りの人にあいさつをしたり、とても楽しそうな皆さんでした。

本年度の取り組み

大迫団地町内会

会長 倉沢 由美子

平成二十七年大迫町内会では、長年ご尽力をいただいた会長・副会長の退任に伴い、新役員が選出され、同時に町内会防犯パトロール隊も全員六十歳代になるなど、節目の一年となりました。

新しい取り組みとして、四百近い世帯を数える大迫の住民の皆さんに、身近な情報を届けるべく「大迫町内会だ

より」を年三回発行することになりました。

その甲斐もあってか、町内会の二大行事「夏祭り」「どんどまつり」に関しての引き継ぎは順調で、ますますチームワークの良い祭りの運営ができていきます。

急務の課題としては、民生委員の長期にわたる不在期間の解消です。若い世代にもっと町内会活動に関心を持ってもらい、参加していただくための声掛けと合わせて、大迫町内会の今後の大きなテーマとなっています。

住民パワーが存分に発揮される全員参加型の活動を目標



に、大迫町内会は奮闘しています。

秋祭り

やまなみ町内会

副会長 菅森 輝登

さわやかな秋晴れのもと、十月十八日(日)秋祭り(仮もみ)を行いました。

浄心院の住職さんのほら貝に見送られてスタート。町内を一周し、老人ホームいこいの園へ伺いました。子ども達の来るのを待っておられた入園者の方々と一緒になって、元気な掛け声で仮もみをして楽しんでいただきました。

町内に戻り、役員の方に準



備していたいただいた、むすび、豚汁をいただきながら親睦をはかりました。

今年新しいメンバーも増え、今後の活動・活躍を期待しております。

若返りに期待

茶臼台町内会

公園集会所部

茶臼台町内会では十一月二十九日(日)午後十三時半「花づくり三世交代交流会」を行いました。

参加者は老人会の皆さん、子どもクラブの皆さん(保護者と幼児・小学生)・中学生の皆さんで総勢約七十名が茶臼



公園に集いました。

公園内の花だんの辺りに老若男女が葉ボタン・パンジー・チューリップの球根・山桃などの苗木を協力しながら楽しく植えました。

子どもたちの植えた花にはそれぞれ、その子どもの名札がつけられました。植えた花は春にむけて咲き続ける品種なので花の成長が子どもたちの成長に思いが重なる感じがしました。植えた後はみんなでぜんざいを食べて楽しく無事に終わることができました。

「今日は久しぶりに活気があり、賑やかで良かった。」と老人会の方の声や「親同士が知る話ができる機会になって

良かった。楽しくすごせて良かった。」と保護者から聞くことができました。

老人会の皆さん、子どもクラブの皆さん、公園集会所役員の皆さんの協力で盛況な一日だったことに感謝です。



子ども会育成協議会 あるけあるけ運動

会長 勝兼 賢美

十月十二日(祝) 体育の日、恒例のあるけあるけ運動が行われました。参加者は一〇八

名。年々減ってはいますが、元氣一杯竜王公園を目指し出発しました。

竜王公園では、宝探し・ジャンケンゲームをしました。宝のカードを一人で八枚見つけた子どももいました。



ゴールの茶臼台公園では参加者にパンと飲み物が配られました。お腹のすいた子どもたちは、すぐにパンをほおばっていました。

中学校PTA

PTA活動報告

会長 藤岡 浩明

今年度は一年生六十八名を迎え各学年二クラスでスタートしました。行事としては三年生の「職場体験学習」が五月に行われました。いつも快く生徒を受け入れてくださる関係者の皆様に感謝申し上げます。また同時期に一年生の「野外活動」が似島でありました。

次は六月の「体育祭」ですが天気にも恵まれ楽しく終了できました。今年は部活動も努力の成果が実り、テニス部や吹奏楽部が、めざましい成績を残してくれています。その他のバスケット・野球・サッカー・陸上・バドミントン・美術部とそれぞれよい成績を残しています。

また、八月末の吹奏楽部に



よる「夕暮れコンサート」は雨天ということ体育館での開催になりましたが、多くの方にお越しいただき大盛況の中で行われました。

十月は己斐上フェスタです。各クラス対抗の合唱コンクール・生徒会執行部による「常識・

非常識」をテーマにした発表。そして生徒全員による己斐上ソーランは今年も子ども達が猛練習をし、はつらつとしたパフォーマンスを披露してくれました。

そして二年生の修学旅行は桜島の噴火の状況もあり予定を変更し、奈良・京都・大阪・神戸と回るルートに変更になりました。こうした行事を含め、日々子どもたちは考え悩みながら成長しています。

小学校PTA

PTA活動報告

会長 池森 正喜

本年度、己斐上小学校三九二名の子どもの達のために、

- ① 笑顔を増やそう
 - ② 積極的に行動しよう
 - ③ 感謝の気持ちを言葉にしよう
- という活動方針・目標のもとPTA活動を行ってましました。

十月の運動会では、一年生のかわいらしい演技に笑顔があふれ、五・六年生の組体操では感動を覚えました。



十一月には、あいにくの天候となりましたが、やまびこ楽校祭が開催され、キッズコーラス、各学年のステージ発表、そしてエンディングでの全校合唱。音楽の素晴らしさを再確認することができました。

また、各行事ではPTA各会員様のご協力により、運動会では保護者競技、楽校祭では、バザー・遊びのコーナーを行いたくさんの子ども達の笑顔を見ることができました。今後、学校そして地域と協力して、子どもたちを見守り育てていけるよう努力し、さらなる地域活動の一端となるために活動をしていきたい



と思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

己斐上女性会

共に歩んだ十年の…

会長 山口 豊子

己斐女性会から独立して十年を経て、恒例になった親睦と、学びの旅を今年は、大河ドラマの舞台・萩を訪れました。

うらやましいほどの姿の、明倫小学校近くにある、『花燃ゆ』記念館は、さすがに素晴らしいハイテク?、カードを

かざせば、登場人物の映像と音声での案内で、すっかり魅せられてしまいました。

何度か体験した、松下村塾、松陰神社も改めて学び直す気持ちで、熱心にガイドさんの話を聞きました。

山陰の海岸線の美しさに目を奪われながらの帰途、梨狩りで楽しみ、記念の手作りカードケースもいただき、親睦の日はますます絆を強くすることができました。

己斐上母親クラブ

食育活動

会長 大下 素美

「己斐上食育にこにこ隊」は西区保健センターと公民館と母親クラブが協力し、企画・運営しています。「つくってたべようおいしいごはん」という食育活動を行っています。この活動は平成十六年食育ボランティア養成講座が始まり平成十七年「つくってたべようおいしいごはん」子ども料理教室が本格始動し現在に至っています。この活動内



容は己斐上地域の子どもたちを対象に、子どもの居場所づくりと食を通じて子どもの五感でさまざまなことを学ぶ体験学習の場として月一回程度行っています。



そして子どもたちの成長も楽しみに頑張ってきたボランティア活動が「広島市公衆衛生事業功労者表彰」をいただき評価していただいたことは今後の活動に励みになります。子どもたちの笑顔とボランティア同士の温かいつながりがこの会を継続させている理由だと思えます。これからも今まで通り料理を通して子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

己斐上地区青少協

第二十六回 『オセロ大会』

会長 山下 正司

十月十七日(土) 第二十六回『オセロ大会』を開催しました。

今年も、たくさんの子どもたちが参加してくれ、また、去年同様児童館の方々の全面的な協力を得て、第二十六回、二十六年目の大会を開く事ができました。

参加者は例年 一・二・三・四年生



追伸

今回参加してくれた子ども達の親の中には、『小学生のころ、この大会で盾をもらってかえりました』という人もおられ、このオセロ大会が親子二世代に渡っていることに少々感心しました。これから第三十回、第四十回目と続いていくように…との思いです。

編集後記

これからも社協だより「こいうえ」は地域の情報発信の場にしていきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想等がございましたら事務局までお願いします。

今後とも、己斐上学区社会福祉協議会へのご協力よろしくお願ひします。

事務局 日山 義彦